

営農ウィークリーNEWS

向島特産レタス現地目合わせ会実施



圃場巡回の様子



出荷間近のレタス

令和7年4月3日、JA京都中央向島野菜出荷研究部では、部会員11名のレタス圃場を巡回し生育状況を確認しました。当日は研究部会員のほか、市場担当者（京印）、全農京都府本部、JA担当者ら16名で巡回を行いました。生育は、1月～3月上旬の低温乾燥で、若干遅れ気味でしたが、病害虫の発生なく、良好な状況でした。灌水をこまめに行った圃場では、出荷できる株も見られ、11日から共販出荷していくことが確認されました。

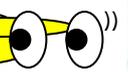
今後、5月中旬まで約1万5千ケースが朝採りレタスとして京印京都南部青果へ出荷され、スーパーの店頭で販売され、その日のうちに消費者の手元に届けられます。



4月上中旬出荷のトンネル栽培

TAC information

水封マルチでトンネル内温度の確保



水封マルチとは、ポリダクトに水を入れてベツト上に置き、日中水に蓄熱し、夜間その放熱を利用するもので、夜間の地温とトンネル内気温の確保ができる技術です。水封マルチによりトンネル内気温は1～3℃高くなると言われています。すでに、徳島県のオクラ産地では定着しており、今年、京おくらでも2名の生産者が水封マルチを設置して、トンネル栽培の安定を図っています。（写真は、マルチの上に置かれた水封マルチとべたがけ、トンネルで、オクラの保温を図っています）

暖かくなってきて、農業機械を使う機会が多くなってきました。基本のポイントを確認し、安全な作業に心がけてください。

休憩も取りましょう!!
**しっかり
事故防止**

農機具の事故のほとんどは、一瞬の不注意から起きています。
事故を防ぐ5つのポイントを必ずチェックしましょう。

チェックポイント
1 取扱説明書をよく読んで農機具を正しく使用していますか。

チェックポイント
2 日常点検・定期点検は忘れずに行っていきますか。

チェックポイント
3 点検整備は必ずエンジンを止めてから行っていきますか。

チェックポイント
4 作業は身体にピッタリあった服装で行っていきますか。

チェックポイント
5 「大丈夫だろう運転」は危険です。十分安全を確かめていますか。

チェックはこまめに忘れずに!!
**5つの
チェック
ポイント**



農水省啓発用チラシより

○機械作業を中断する時はエンジン停止！

○駐停車をするときは、駐車ブレーキを確実に！

○「ちょっとだけだから」は危険！

ちょっとの間だけだからとトラクターの左右ブレーキを連結しなかったり、刈払い作業で防護メガネを装着しなかったことで、事故が起きています。

○ヘルメットを被ろう！

○携帯電話を持ち歩こう！

○危険な場所にはポール等で目印を！